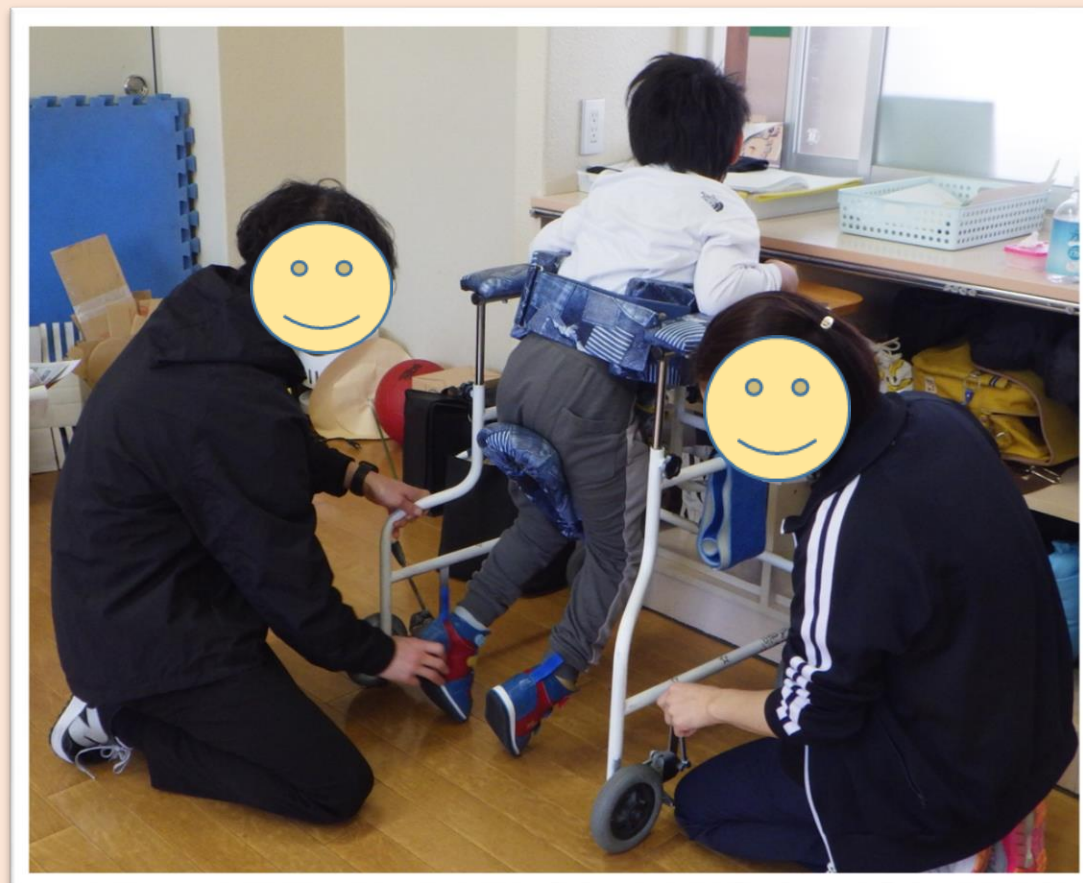


## 教育活動の様子（外部専門家活用）

今回は、本校の外部専門家による相談支援についてお知らせします。

本校には、理学療法士（PT）・作業療法士（OT）が勤務しています。教職員による身体に関する指導の様子を見て助言を頂き、指導力の向上を図り、日々の指導に活かしています。

どんな相談支援が行われているか、ご紹介します。



## 理学療法士（PT）

### 理学療法士（PT）とは？

運動発達の特徴から、学校などでの過ごし方を共に考えていく専門職です。機能回復のリハビリテーションや健康維持・悪化の予防、スポーツの分野などでも活躍しています。

### 相談内容の例

- ・立つ、歩く、座る等基本動作についての助言
- ・机、いす、車いす、座位保持いす、歩行器等の高さが身体に合っているかの評価と助言
- ・安全な介助方法

## 作業療法士（OT）

### 作業療法士（OT）とは？

食事をする、字を書くなど、日常生活を円滑に送るために必要不可欠なリハビリテーションを行う専門職です。社会適応能力の維持・回復など、精神分野のリハビリテーションを行うこともあります。

### 相談内容の例

- 学習する・遊ぶ等生活動作全般についての助言
- ・食事の時の姿勢
- ・食具
- ・書字の支援方法
- ・感覚や認知に関すること

本校から、保育施設・小学校・中学校・高等学校へ、PT・OTを派遣して、相談に応じています。対象は、本校の通学地域にある施設へ通われているお子さんです。身体のこと何か相談したいことがございましたら、本校「地域支援係」まで、メールか電話でご連絡ください。特別支援コーディネーターが対応いたします。

## 校内支援の例



### 【理学療法士（PT）】

歩行が可能な児童生徒への支援では、視力が弱い生徒が安全に歩行するための支援方法や、歩行器を使用している生徒の姿勢や注意点などについて助言をいただきました。障害が重度の児童生徒については、身体の緊張が強い児童を安全に車いすやベッドへ乗せ換えるために気を付けることや、人工呼吸器を使用している児童に対して、呼吸機能の維持を促す運動などを指導していただきました。

本校の幅広い実態の児童生徒の支援について、わかりやすく助言をいただいています。



### 【作業療法士（OT）】

車椅子を使用している児童生徒の着替えや、トイレなど日常生活動作の指導についての助言や、手の操作性を高める取り組み、iPadへの文字入力の方法や姿勢などについての助言などをいただきました。また、姿勢や身体的な支援だけでなく、自己刺激が多い児童生徒が、他の感覚を受け入れられるような取り組み、学習に使う教材についての助言など感覚や認知についても相談にのっていただいています。



## 支援を受けた感想

- ・歩行器を使用する際の支援や、膝裏を伸ばすストレッチ、立位の際の注意点など丁寧に教えていただきました。目的や方法がわかりやすく、同じような課題のある児童生徒にも生かしていきたいと思います。
- ・現在実施しているストレッチの教師の手の置き方や筋力向上のために、児童に適した方法を教えていただき大変参考になりました。
- ・歩行時の足のつま先の引っ掛かりについて、原因が分かってよかったです。左半身には麻痺があるので難しい面もあると思いますが、片足を台に乗せて踏ん張る練習などを取り入れてみたいと思います。
- ・車イスの座位姿勢の傾きを改善できるような座り方を教えていただき、ためになりました。
- ・粗大運動の経験を通して、バランス感覚の向上、身体機能の向上につなげていきたいと思います。
- ・いろいろな遊具に挑戦して、たくさん刺激を入れていきたいと思います。